

徳居副町長、足立教育長が就任
副町長、教育長就任



とくい よしゆき
徳居 芳之 副町長

◎主な経歴 松前町役場に入庁後、総務部や教育委員会などで勤務。産業課長、産業建設部長、総務部長を歴任し、退職後の平成31年4月からは社会福祉協議会事務局長を務める。令和2年4月1日から副町長を務めている。

「田中町長の下、職員と心をつなげて、知恵を出し合い、率直な意見交換ができる風通しの良い職場環境づくりに努め、町民福祉の向上と松前町発展のために、全力で取り組む決意です。よろしくお願いいたします」

4月1日、徳居芳之副町長と足立一志教育長が就任しました。任期は、徳居副町長が令和10年3月31日まで、足立教育長が令和9年3月31日までです。



あだち かずし
足立 一志 教育長

◎主な経歴 中学校教諭として学校教育に携った後、県教育委員会中予教育事務所で教職員課長を務める。平成28年度から松前中学校長、退職後、伊予教科図書販売代表取締役を歴任。令和3年4月1日から教育長を務めている。

「子どもたちを社会全体で温かく、見守り育てていくことのできる町、誰もが生涯にわたり学び続けることのできる町に向け微力ながら力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします」

松前町観光ガイドブックが完成
「ハイ!まさき」松前町観光ガイドブック

松前町観光協会は4月5日、役場で、同協会が作製した観光ガイドブックの完成を田中町長に報告しました。このガイドブックには、松前町ならではのスポットやグルメなど、「とっておき」のまちの魅力がたくさん詰め込まれています。まさきオフィシャルサポーターの久保田大希さんは、「このガイドブックで大好きな松前町を存分にPRしたい」と話していました。今後は、町内外の観光施設で配布される予定です。



「御用旗」が松前町指定文化財へ
おたた衆が掲げた「御用旗」

3月28日、「御用旗」を松前町指定文化財に指定しました。「御本城御用」と書かれたこののぼりは、弘化4年着工の松山城の再建に携った松前のおたた衆が、頭の御用櫃に石を載せて運ぶときに掲げられたと考えられています。おたた衆が、慶長7年着工の松山城築城と、約250年後の松山城再建に携ったことを示唆する貴重な資料です。歴史民俗資料室に展示しています。ぜひご覧ください。



「行ってこーわい会ってこーわい」(P24)で、ガイドブックの表紙を飾る水最かほさんにインタビューしています。ぜひご覧ください。



新生活がスタート
入園式・入学式

町立保育所の入園式は5日、町内の小中学校の入学式は9日、町立幼稚園の入園式は11日に行われました。新入生たちは、期待に胸を膨らませながら新生活をスタートさせていました。

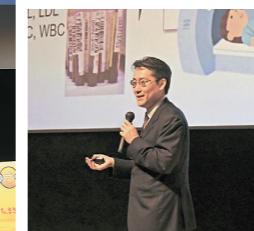
1・2_真新しい制服に身を包み、入場(松前小・北伊予中) 3_名前を呼ばれて大きな声で返事(北伊予小) 4_式辞に耳を傾け、新生活への期待が高まる(松前中) 5_新入生代表が「誓いの言葉」を述べる(岡田中) 6_親子で担任の先生の話を聞く(岡田小)



「脳」の健康づくりを推進するために
脳の健康づくりの推進に関する協定調印式

「脳の健康づくりの推進に関する協定調印式」は4月12日、文化センターで開催され、地域住民など約300人が参加しました。この協定は、町と一般社団法人ブレインインパクト(山川義徳理事長)が相互に連携し、住民の健康寿命の延伸や脳の健康を維持するため締結されたものです。調印式後は、山川理事長が記念講演を行い、「楽しく無理なく脳を健康にするために、運動などできることから始めよう」と話していました。

⑤協定書を手にする田中町長と山川理事長
⑥脳の健康づくりについて講演する山川理事長



満開の桜の下で春を楽しむ
まさきマルシェさくらマーケット

松前町観光協会とhimari marketによる「まさきマルシェさくらマーケット」は4月7日、松前公園で行われ、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。

満開の桜を見ながらおいしいものを食べたり、お気に入りの品を見つけたりしてほしいと開催された同イベント。キッチンカーやハンドメイド作家など34店舗もの出店があり、満開の桜の下で、来場者は春の訪れを喜んでいました。

イベント情報は、観光協会ホームページ(右のQRコード)で確認を。



①おまけのくじ引き ②物作り体験ワークショップ



「空き家×美術」で深海ツアー
伊予高「地産地消の岩絵具祭」

伊予高等学校主催の「The ocean art house～地産地消の岩絵具祭～」は、3月23、24の両日、町管理の空き家で開催されました。

これは、伊予高等学校で探Q「美術表現探究」講座を受講している生徒11人が、空き家を活用して地域の人と交流しながら新しい観光スポットをつくることを目的に開催されたもの。重信川や塩屋海岸で採取した石や砂で作った絵具で、「海と猫」をテーマに作品を作り、展示しました。

重信川の石を削って、水のりと合わせた絵具で入り口の鯛を描いた2年生の弓立ゆずきさんは、「色の濃淡にこだわった」と出来栄に大満足。リーダーで3年生の中尾真菜さんは、「みんな楽しんでくれているので、頑張って準備して良かった」とほほ笑んでいました。



①石を削って作った絵具で塗り絵を体験
②入り口では大きな鯛がお出迎え。深海ツアーの始まり
③粉碎した石と溶かしたろうそくで作った作品

第8分団の消防拠点完成
第8分団消防詰所落成式

「第8分団消防詰所落成式」は4月6日、同詰所内で行われました。

この詰所は、西古泉、昌農内地区の消防団再編に伴い、新たな消防拠点として建設されたものです。耐震性のある防火水槽や停電時の発電機など震災対応の救助資機材も備わっており、防災拠点としての役割も期待されています。

落成式で田中町長は、「第8分団消防詰所を地域の新たな防災拠点として、安全・安心なまちづくりを進めていきたい」と話していました。



①完成した第8分団消防詰所
②落成式であいさつする田中町長



災害時の物資輸送に協力

災害時における物資の輸送等に関する協定

町と松山地区トラック協会(中村仁地区会長)は3月22日、「災害時における物資の輸送等に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害が発生したとき、迅速かつ円滑に物資を輸送するために締結されたもの。災害時は、被災者に対して食料や生活必需品などの物資の安定供給を行うことで、被災者の生活の安定を図ります。



交通安全への決意新たに

松前町交通安全指導員委嘱式

松前町交通安全指導員の委嘱式は4月3日、役場で行われました。

今回委嘱された指導員は24人で、任期は令和8年3月31日までです。代表して松前支部長仲島政夫さん(写真左)、北伊予支部長弓立俊正さん(中)と岡田支部長藤波武男さん(右)に、田中町長から委嘱状が渡されました。指導員は、登下校時の街頭指導など、町内の交通安全のために活躍します。



国保事業の推進に貢献

愛媛県国民健康保険団体連合会表彰

「愛媛県国民健康保険団体連合会表彰」の伝達式は3月28日、役場で行われ、本町の(写真左から)奥田美恵さん、豊田勝紀さん、池内力さんが表彰を受けました。

これは、松前町国民健康保険事業運営協議会委員を5年以上務め、国民健康保険事業の推進発展に貢献した功績が認められたもの。田中町長から表彰を受けた3人は、誇らしげな笑顔を見せていました。



健全な水道事業を継続するために

松前町水道事業経営審議会答申書伝達式

町が令和4年12月、松前町水道事業経営審議会に諮問した、「健全な水道事業運営を支える水道料金等のあり方」に関する答申書の伝達式は3月29日、役場で行われました。

答申書には、人口減少に伴う収入の減少や施設整備に伴う費用の増加などを考慮した料金改定案などが示されています。これにより、今後は、水道料金の改定手続きと住民説明会を行う予定です。答申書と審議会の開催状況は、町ホームページで公表します。